

「竹島の日」を考え直す会 機関紙

本部;代表 趙吉夫 (大阪府八尾市志紀町 3-30 八尾市韓国人会館内 Tel.072-949-1521, FAX072-949-4337)。  
編集;理事長 久保井規夫(大阪府高槻市川添 1-3-20 Tel.Fax;072-695-3210 Email; apckuboi@ybb.ne.jp)



趙吉夫 代表



李相模代表理事

2017年10月28日(土)午後2時より、私たちの「竹島の日」を考え直す会は、姉妹提携している韓国慶尚北道独島財団の協賛にて、第14回「竹島の日」を考え直す集いを開催した。会場は、初めて東大阪市の布施韓国人会館でした。テーマは、斬新に「韓国の人は何で竹島(独島)は韓国領土だって言うの?」とした。地元でもある趙吉夫代表から、初めて参加する方が多いことも考えて、先ずは関心を持ってもらうことを第一義との提案を反映した。

講演に先立つ、イベントとして、韓国歌謡と伽耶琴演奏、浪速の歌う巨人パギヤんが会場を和ませた。さて、朴清専任理事が進行し本題に入り、本会趙吉夫代表と、協賛の慶尚北道独島財団の代表理事李相模が挨拶。次の二つの講演がなされた。最後に、義川昌代理事朗読して、政府・島根県・各教科書会社に対して、「竹島の日」撤廃と領土教育是正の要請が集会決議された。教科書に、領土教育が必修として記載され、その内容が、日本政府見解だけの一方的記載とされていることに、隣国との対立が煽られることを危惧したためである。以下、講演要旨を掲載する。



パギヤん。「核々死か慈か」トーク

講演 1 「韓国中学生の竹島学習批判の手紙について」

黒田 伊彦 (副代表、元大阪樟蔭女子大学教員)

2017年5月、韓国の中学三年生(全羅南道ハムピョン中学校)から、島根県中学校各校の教師に対して「竹島教育への批判の手紙」が送付された。その要旨は、「学校で間違っ



黒田伊彦副代表の講演

た話を聞き、私たちは大変心配しています。独島は、過去、日本が朝鮮半島を侵略する過程で、最初に奪い取られた土地です。日本が独島に対する権利を主張することは、日本帝国主義の侵略戦争により占領した土地の権利を主張するものです」「近代以前の



島根県中学校へ手紙を送ったチャン君、カン君、パク君。

多くの文書と地図では、独島が韓国の領土であったことを証明しています」「先生方は、独島と関連する歴史的事実をよく知らない日本の生徒たちに正しい歴史を教えてください」というものだった。日本側が、政

府見解だけを教え込むことを強要した教育では、隣国との理解しあえる機会さえ奪ってしまう危惧を述べた。

## 講演2 「日本人漁夫と海軍と地図の真実」

久保井規夫（理事長、元桃山学院大学教員、アジア民衆歴史センター主宰、歴史学名誉博士）

日本政府が、独島＝竹島を領有化し、島根県管轄としたのは、1904年末、島根県漁師の中井養三郎が、独島＝竹島での漁労の制限許可制を願い出たためとしていることを、「口実に過ぎない」と断定する。



久保井規夫理事長による史料に基づく講演。映写されているのは、高橋景保「萬国全図」(1810)である。鬱陵島・干山島が朝鮮領と示されている。

日本海軍は、露艦隊に対する監視所・偵察連絡の海底電線の設営を1904年初めから始めており、ウラジオストック露港の出入りの戦略要地ある鬱陵島と独島＝竹島へも、監視所・海底電線の設営は決定済みであった。

海軍が調査を命じた軍艦新高は、「韓国人は、独島と記しています」「独島には露艦船が立ち寄っています」との情報を寄せた。詳しく、上陸調査を命じられた軍艦対馬は、「監視所に適切な場所二か所

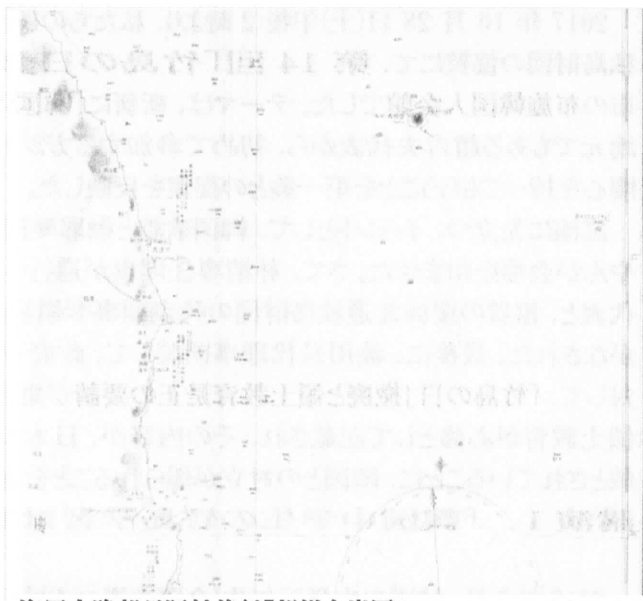
あり」(1904.11)と返答し、監視所・海底電線設営が決定的となった。これらの調査報告は、艦長から海軍水路部長肝付兼行中将へと報告された。バルチック露艦隊との日露海戦が迫る時期である。



海軍水路部長肝付兼行

この肝付兼行水路部長のところへ、中井養三郎が相談に訪れた。「朝鮮全岸図」(肝付兼行作図)によれば、韓国領と見られる独島＝竹島での漁労を「私たち限定した者だけに漁撈許可を」と申請するためであった。秘密裏に監視所・海底電線の設営を実行していた肝付兼行。とは知らぬ、中井養三郎は、地図作成

者である肝付兼行中将から「領有は、日韓いずれか確定せず。あなたの漁労実績で、日本領有・限定漁労許可を申請すべし」と唆され、納得した。肝付兼行は、誰よりも、韓国領土と知りながら、日露海戦の戦略を優先して、無人島を良いことに、独島＝竹島を日本領地として強奪させたのである。この経過を、「竹島経営者、中井養三郎伝」奥原碧雲聞き書き(1906.5.20)は、次のように記述している。海軍水路部につきて、リャンコ島の所属を確かめしむ。……肝付水路部長に面会して教えを乞うや、同島の所属は確固たる徴證なく、……加ふるに朝鮮人にして元來同島経営に関する形跡無きに反し、本邦人にして、既に同島経営に従事せる者あるが上は、当然日本領土に編入すべきもの也との説を聞き、勇躍奮起、遂に意を決して、「リャンコ島領土編入、並びに貸下願」を内務・外務・農商務三大臣に提出するに至れり」(1904.9.29)。もはや明白であろう。海軍の作戦にうってつけの申請をしてくれたわけである。事態を把握して、日露戦争時における軍部・内閣あげての緊急措置である。正月早々、内務大臣芳川顕正は、「秘乙第 337 号の内、無人島所属に関する件」なる閣議を請う(1905.1.10)。軍用秘密閣議で



海軍水路部長肝付兼行「朝鮮全岸図」1896.4.15。この海図で中井養三郎はリャンケールロックを韓国領と認識していた。

あることに注目されたい。一方で、島根県の意見も聞き、「竹島」の命名を採用し、リアンクールロックの日本領有を閣議決定した(1905.1.28)。これを受けて、島根県は告示がなされた。「島根県告示第四十号。北緯 37 度 9 分 30 秒、東経 131 度 15 分、隠岐島を距てる西北哩にある島嶼を竹島と称し、自今本県所属、隠岐島司の所管と定めらる。明治 38 年 2 月 22 日、島根県知事 松永武吉」。すでに、太政官指令にて、韓国領と再確認して定めていたリアンクールロック(日本名松島)を、戦略の為に覆して、日本領と決定した、この 2/22 が、島根県による竹島領有イベント「竹島の日」である。韓国側は勿論、歴史の真実を知った者は決して容認できない。



隠岐島庁前での竹島調査団。最後尾中央が中井養三郎。最後尾二列目の右三人目が奥原碧雲。1905.3

なお、海軍の作戦で戦略要地とされた対馬海峡、鬱陵島、リアンクールロック(独島=竹島)は、日露海戦の決戦地となった。日露海戦と独島=竹島の強奪については、第 15 回「竹島の日」を考え直す集い(2018.3.3)での、私の講演テーマである。内容の仔細は、それに譲る。



決議文を会場全員の拍手を以て採決。決議文は、政府・島根県・教科書会社、報道機関へ送付した。

### 集 会 決 議

内閣総理大臣 安倍 晋三様      外務大臣 河野 太郎様      文部科学大臣 林 芳正様  
 島根県知事 溝口 善兵衛様  
 各社会科教科書出版社様

#### 「竹島の日」撤廃と領土教育是正の要請

竹島(韓国名独島)は、江戸幕府が、元禄竹島一件(1693 年)、天保竹島一件(1836 年)にて朝鮮国領と決定済みである。また明治政府も、太政官指令(1877 年)で竹島(韓国名独島)を朝鮮(韓国)領土と決定済みであった。さらに、韓国が、大韓帝国勅令(1900 年)にて鬱陵郡所属として領有を官報に公布していた。

これらの決定に矛盾し、1905 年 2 月 22 日に島根県所管にしたことを規範とする「竹島の日」条例は、日本側の不法不当な主張である。何よりも、日露戦争時の日本軍による韓国圧迫期に行われた竹島、すなわち独島強奪であり、島根県「竹島の日」は、韓国侵略の是認として容認できない。

さらに、検定合格社会科教科書には、日本の領土として、竹島、尖閣諸島が掲載されている。それらは、検定基準により、政府(外務省)見解「歴史的にも国際法的にも日本固有の領土」と明記し理解させようとする偏向的なものである。日本が、侵略した中国との尖閣諸島、侵略・植民地化した韓国との竹島(独島)、戦後、国交正常化が遅滞した中で領有実態が複雑化し、歴史的な検証も、外交的努力も未だ不十分である。日本政府は、責任と誠信をもって向かい合うべきである。相手国の見解を封殺して、日本政府の見解だけを教科書により注入する事は、徒に領土ナショナリズムを煽り、隣国の人々を傷つけ、隣国との友好と国際協調を損なうものである。

以上のことから、わたしたちは、次の要請をおこなう。

- ①島根県は、「竹島の日」条例を撤回し、韓国慶尚北道との友好関係を復活させてください。
- ②政府は、固有の領土論に固執せず史実を真摯に公開審議して、政府見解を正してください。
- ③政府は、相手国の見解を封殺した学習指導要領による検定教科書基準を撤回されたい。
- ④政府は、領有権について隣国との外交、研究交流によって解決する事に努力されたい。
- ⑤各教科書出版社は、以上の島根県、政府への申し入れに留意されたい。自国政府見解だけでなく、隣国の見解も反映して、対立よりも解決を求める教科書の正しい記述と申請をされたい。

2017年10月28日

大阪府八尾市志紀町3-30「竹島の日」を考え直す会 代表 趙吉夫 理事長 久保井規夫  
第十四回「竹島の日」を考え直す集い 参加者一同

## 五周年を迎えた「竹島の日」を考え直す会の活動経過

- 2013.2.15、第一回「竹島の日」を考え直す集い(大阪市西成区民センター)。団体結成を確認。
- 2013.4.22、第二回「竹島の日」を考え直す集い;本会発足の集い(大阪市東成区区民センター)。
- 2013.5.20~26、5/21 釜山市庁記者会見にて、久保井は、日本外務省が掲げた長久保赤水「改正日本輿地路程全図」は、正規版ではない。正規版では韓国領であることが明示されていると指摘した。5/23、黒田、久保井、一戸の三名が、鬱陵島・独島=竹島を現地調査した。韓国・日本で大々的に報道された。
- 2013.9.29、第三回「竹島の日」を考え直す集い(大阪府八尾韓国人会館)。
- 2014.2.22、第四回「竹島の日」を考え直す集い(大阪市住吉会館ホール)。本集会より、例年、二月・十月には、政府・島根県・各教科書会社への、抗議・要請の決議を行う。二月集会は島根県「竹島の日」に、十月集会は韓国独島月間に、それぞれ対応する。
- 2014.6.21、第五回「竹島の日」を考え直す集い(大阪市道頓堀ホテル)。理事長久保井規夫「図説竹島=独島問題の解決」柘植書房新社の出版記念集会として実施。
- 2014.10.7~11、第六回「竹島の日」を考え直す集い(大阪市人権博物館大展示ホール)。「特別展示会 原本史料から明らかになる日本と韓国の歴史の真実」。韓国 KBS「独島=竹島問題、いま日本では」にて報道された。
- 2015.2.22、第七回「竹島の日」を考え直す集い(エル大阪ホール)。ヘイトスピーチ批判。竹島=独島問題・日本軍「慰安婦」問題のパネル展示と解説。
- 2015.4.23~25、理事長久保井規夫が、韓国の東北アジア歴史財団と国会歴史歪曲対策特別委員会から招聘される。4/24「著作『図説竹島=独島問題の解決』で重視した視点は何か」を講演。Goyang Global 高校の



30点のパネルが展示され久保井規夫理事長が解説した



第七回「竹島の日」を考え直す集い。資料パネルの展示・説明

全校集会で「独島が韓国領と確認された新史料」を講演。慶尚北道独島財団から史料展示会の依頼。4/25 全国教師「慰安婦」問題研修会にて、「慰安婦」問題の資料と教育実践の課題について講演。

- 2015.6.20、 第八回「竹島の日」を考え直す集い(八尾韓国人会館)。韓国 KBS「独島=竹島問題、いま日本では」を上映。副代表黒田「検定教科書による領土ナショナリズムを批判する」、理事長久保井「マスメディアの独島=竹島報道と日韓国交正常化五十年」を講演。
- 2015.7.1~5、「竹島の日」考え直す会代表团、訪韓。7/1 本会と慶尚北道独島財団との姉妹提携。東北アジア歴史財団訪問。7/2 韓国国会東北アジア特別委員会にて、理事長久保井が「史料で明晰にする明治政府の独島=竹島領有に関する二つの決定の虚と実」を発表。独島体験館見学。7/3 慶尚北道知事、鬱陵島郡守を表敬訪問。鬱陵島にて、独島博物館見学と学習交流。分散して、鬱陵島と独島=竹島をフィールドワーク。
- 2015.8/10~13、韓国国会議員会館ロビーにて、「展示会 新史料による独島=竹島の正しい歴史認識」を開催。主催;慶尚北道独島財団・韓国国会東北アジア特別委員会、後援;東北アジア歴史財団・慶尚北道・鬱陵郡、協力;「竹島の日」を考え直す会・アジア民衆歴史センターである。韓国で大々的にテレビ中継・報道された。



韓国国会議員団との「正しい歴史認識」日韓共同学習会 (2015.7.2)

- 2015.10.11、第九回「竹島の日」を考え直す集い(八尾韓国人会館)。韓国側から崔哲榮(大邱大学校)、宋彙榮(嶺南大学校)の講演をいただいた。北方領土・尖閣諸島・竹島関係の史料が展示された。
- 2016.2.21、第十回「竹島の日」を考え直す集い(国労会館大会議室)。副代表黒田伊彦「日韓首脳会談の歴史認識と竹島・独島問題」、元教員相可文代さん「中学校教科書における領土教育の現状」、理事長久保井「リアンケート初出の地図原本を対比分析した新しい発見」「最大の懸案;日本軍『慰安婦』問題の日韓合意を真の解決とさせるために」を講演。初めて、「慰安婦」問題についての解決への要請を決議。
- 2016.6.18、第十一回「竹島の日」を考え直す集い(八尾韓国人会館)。漆崎英之(金沢教会牧師)さんが『「太政官指令」は独島=竹島を朝鮮領とした』、朴炳涉(竹島=独島研究ネット代表)さんが『「サンフランシスコ講和条約と独島=竹島問題」』を講演。
- 2016.9.10、第一回「竹島の日」を考え直す集い in 東京(文京区アカデミー千石)。初めての東京集会である。副代表黒田が「外務省も教科書も触れない竹島・独島の事象を指摘する」、理事長久保井が「日韓における新視点・新史料で竹島=独島の領有権を明晰にする」を講演。
- 2016.10.8、第十二回「竹島の日」を考え直す集い(大阪市住まい情報センター)。副代表黒田から「隠州視聴合紀」、朴炳涉さんから「大韓帝国勅令」、理事長久保井から「尖閣諸島問題」が講演された。

- 2017.2.18、第十三回「竹島の日」を考え直す集い(大阪市 PLP 会館)。副代表黒田「島根県の竹島の日制定の理由と主張を糺す」、理事長久保井「外務省見解に基づく領土教育批判と尖閣=釣魚諸島問題」。
- 2017.3.20、第二回「竹島の日」を考え直す集い in 東京(南部労政会館)。テーマ「固有の領土論に根拠はあるのか」。実行委員会の国富建治、副代表の黒田、理事長の久保井、金秀姫(独島財団チーム長)が講演。
- 2017.5.29、副代表黒田が、韓国蔚山で「朴於屯についての日本の研究動向」を講演。
- 2017.6.19、韓国 MBC が理事長久保井所蔵の史料を取材し、「独島、地図の証明」をまとめ 8/29 放映。
- 2017.8.22、理事長久保井「図説竹島=独島問題の解決」の韓国版の出版記念会;記者会見(釜山コモドホテル)。韓国・中国でも報道された。
- 2017.10.28、第十四回「竹島の日」を考え直す集い(東大阪市民団布施支部)。副代表黒田「韓国中学生の日本の竹島学習批判の手紙について」、理事長久保井「日本人漁師と海軍と地図の真実」を講演。
- 2018.3.3、第十五回「竹島の日」を考え直す集い(八尾韓国人会館)。講演「『竹島の日』はなぜ考え直さねばならないのか……日露海戦の図版史料を映写;独島=竹島はバルチック露艦隊迎撃の戦略要地として強奪した」久保井規夫(理事長)。パネルディスカッション「竹島の日を考え直す会の今までとこれから」コーディネータ黒田伊彦(副代表)。百名を越える盛会であった。集会のようすは、次号にてお知らせする。

## 竹島=独島の史料所蔵および史跡一覧

久保井規夫(理事長、歴史学名誉博士)

関係する講演や書籍・論文で、引用・参考にされている原本史料。検証してみると、自説に都合の良い引用や解釈がなされている場合がある。鵜呑みにせず、自分の目と頭で納得するには、史料所蔵先に足を運ぶのがよい。一方的に、知識を注入されるのと違って、自分が主体的に見つめて、理解することができる。そこまで関心を持ってくださる方が出てくださることを期待して、ご紹介する。なお、本会メンバーも、随時、現地へのフィールドワークを実施したり、史料調査に出向きますので、関心のある方はお尋ねください。また、高価で入手困難ですが、原本史料を掲載している書籍もある。なお、重要な文献史料・古地図・書籍でも、公施設以外が私蔵している場合は、非公開なので省略する。

### <日本国内>

- ① 米子市立山陰歴史館 鳥取県米子市中町 20。開館 9:30~17:30。休館毎週火曜日・祝祭日の翌日。「竹島渡海の葵御紋入船印」、「村上家所蔵;松嶋絵図」、「村上家所蔵;竹嶋絵図」、「今津屋八右衛門の竹嶋絵図」、「大谷家由緒実記・付図」、「竹嶋渡海禁制之達書」(1696.1.28)、松浦武二郎「竹嶋雜誌・付図 複製」(1854.1862.1870 年)。
- ② 鳥取県立博物館 鳥取市東町 2-124。開館 9~17 時。休館毎週月曜日・祝祭日の翌日。「竹嶋、松嶋之絵図」(1724 年、鳥取藩より幕府へ提出)、「大谷家古文書(写)」、「竹嶋渡海由来記抜書」、岡嶋正義「竹嶋考」。
- ③ 島根県立竹島資料室 島根県松江市殿町 1 島根県庁第三分庁舎。開館 9~17 時。休館は毎週火曜日のみ。近世から現代にいたる竹島=独島に関する、地元中心の史料・古地図・書籍・論文・DVD が多数 (史料・古地図は原本が入手・展示困難なため、殆どがコピーである)。島根県竹島問題研究会の年度ごとの論文・資料集「竹島問題に関する調査報告書」や「竹島問題百問百答」、近世・近代の島根県公文書「竹島関係資料集」。政府・島根県の竹島領有パンフレットは無料配布。また、「日本アシカ」剝製、外務省「平和条約の調印とこれからの日本」(1951.9.25)、「李承晩平和ライン」を巡る日韓関係などの展示。県内各地へ竹嶋パネル出張展示会を実施。
- ④ 島根県立図書館 島根県松江市内中原町 52。開館火曜~金曜の 9~18 時。郷土関係の雑誌類、島根タイムス、「新修島根県史」に竹島関係の史料が多い。「竹嶋渡海由来記抜書控」。
- ⑤ 浜田市立図書館 島根県浜田市黒川町 3748-1。開館 9~19 時。休館毎月第二・四月曜日。「朝鮮竹嶋渡航始末記・付図」(1837)、「写;御触書御請印帳(1837.4)」。
- ⑥ 浜田市郷土資料館 開館 9~16:30。休館月曜日・祝祭日の翌日。「天保竹島一件;竹島渡海厳罰の高札」(1837.2)。
- ⑦ 今津(会津)屋八右衛門頌徳碑(1935.12.23)島根県浜田市松原湾。八右衛門盆踊り、浜田駅弁「八右衛門寿司」。
- ⑧ 海鮮レストラン「会津屋八右衛門」島根県浜田市原井町 1203-1 道の駅夕陽パーク浜田 2F。
- ⑨ 石見安達美術館 島根県浜田市久代町 1655-28。開館 10~15:30。休館火曜日。浜田藩史料。
- ⑩ 隠岐島町図書館 島根県隠岐の島町吉田 2。郡代斎藤勘介「隠州視聴合紀佐々木家本」(1667 年)。

⑪久見竹島歴史館 島根県隠岐の島町久見 311-3。開館 9~17 時。休館年末年始。竹島=独島への隠岐島からの漁労の拠点だった久見地区に、アシカ漁などの漁労関係の竹島資料収集施設として、2017.6.1 オープン。

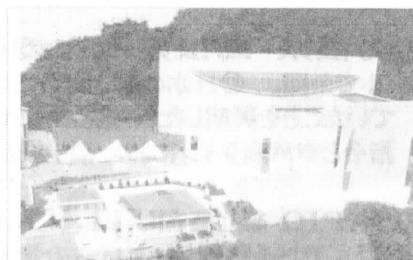
⑫領土・主権展示館 東京都千代田区日比谷公園 1-3 市政会館地下。開館 10~18 時。休館土・日・祝祭日。政府(内閣官房領土・主権対策企画調整室)が開設した、竹島=独島と尖閣(釣魚)諸島を巡る資料展示館である(2018.1.25)。韓国・中国側の見解に反論する日本外務省の見解に沿う形で、展示が構成されている。日露戦争との関りや、権威ある公地図の展示はない。展示以外に、パソコンによる資料閲覧、竹島・尖閣関係のパンフレットの無料配布を行っている。



領土・主権展示館が設置されている市政会館

## <韓国>

①独島博物館 韓国慶尚北道鬱陵郡鬱陵島道洞里 581-1。開館 9~18 時。休館日、正月・旧正月・秋冬連休。韓国国内最初の領土博物館である(1997.8.8)。日韓の古地図、日本の地理教科書、「韓国勅令」、欧米近代地図のコピー、戦後の連合軍や独島義勇守備隊の資料などが展示される。日露戦争との関りや、最近の新史料が補填されず、権威ある公地図も少ないのは、弱点である。映像コーナーもある。韓日英文のパンフレットを無料配布。



独島博物館(韓国鬱陵島)全景

②独島体験館 韓国ソウル市西大門区統一路林光ビル。東北アジア歴史財団が、独島に関連する教育と公報を強化するために設立した。独島の歴史・自然を最先端技術を駆使して映像化し、体験的に学ぶ施設である。歴史・未来館、自然館の展示に、4D映像館で構成する。子どもたちにも学習をと、自然館のジオラマ模型、4D映像館での体験は魅惑的である。歴史・未来館での史料は多岐にわたるが、陳列しただけで、解説・説明がきちんとされてないため、理解が困難であろう。せつかくの天保竹島一件の異国渡海禁止の高札(レプリカ)ももっていない。展示されている地図は殆どが市販の物で、権威ある公地図がなく、説得力がない。安龍福の展示は史実としては、日本側史料と照らして再検証すべきである。日露戦争との関りの展示がされていないのは弱点である。優れた「独島体験館展示図録(日本語版)」を手観覧すると、理解が深まる。

## 政務官が出席し、「竹島の日」式典 韓国は初の廃止要求



「竹島の日」祈念式典 2018.2.22

竹島を日本固有の領土と訴えて、島根県が条例で定めた「竹島の日」の22日、県など主催の式典が松江市であり、政府から六年連続で内閣府政務官が出席した。溝口知事は、「最近、韓国側を見ると、竹島の占拠を既成事実化しようとする動きを強めている」とし、「問題解決のためには、日韓両国の政府間の話し合いが不可欠」と対話を求めた。山下雄平・内閣府政務官は、「大局的な観点に立って粘り強く対応していく」と述べた。韓国外務省は22日、記念式典の廃止を求める報道官声明を発表した。韓国政府が式典廃止を求めたのは初めて。「朝日新聞」(2018.2.23)より

## 韓国・文大統領、独島=竹島と「慰安婦」問題について日本政府を批判



韓国の文在寅大統領(2018.3.1)

韓国の文在寅大統領は、抗日運動「3.1 節」記念式典(ソウル市西大門刑務所歴史館)の式辞で、日韓関係の懸念となっている「慰安婦」問題や独島=竹島について、日本政府を批判した。「独島は日本の朝鮮半島侵略の過程で一番先に支配された土地だ。韓国固有の領土だ。今、日本がその事実を否定するのは、帝国主義侵略に対する反省を拒否することと変わらない」。また、「慰安婦」問題の解決については、「私たちは、誤った歴史を私たち自身の力で正さねばならない。慰安婦問題の解決について、加害者である日本政府が『終わった』と言ってはならない」「戦争当時にあった反人倫的な人権犯罪行為は『終わった』と言う言葉で覆い隠してはならない。不幸な歴史であればあるほど、その歴史を記憶して、その歴史から学ぶことだけが真の解決になる」と指摘した。……韓国 YTN ニュースより

## 連載 竹島=独島問題をもっと知るために ……書籍・史料の紹介と寸評

### 連載Ⅰ 日韓両政府の見解と支持・批判した書籍

#### <日本政府の見解と支持する書籍>

- ①外務省「竹島問題 10 のポイント」2008.2、2014.3……なぜ日本の領土なのかがハッキリわかる! 無料。ネットで公開。1.長久保赤水「改正日本輿地路程全図」を引用。2.韓国干山島への反論。3.4.鳥取藩の商人が漁撈したことで領有権を確立と主張。5.安龍福の供述批判。6.閣議決定による領有。7.8.敗戦後、米国から領有を確認。9.10.李承晩ラインにより、奪われたと主張。国際司法裁判所への付託を提案。
- ②島根県・島根県教育委員会「竹島、日本の領土であることを学ぶ」2016.2 無料。ネットで公開。◎日本の領土なのにいけない島「竹島」。2/22 は、「竹島の日」です。◎江戸時代から漁撈に出かけていたことを説明した絵地図に、竹嶋(鬱陵島)・松嶋(今日の竹島)。◎敗戦後の GHQ(連合軍最高総司令部)の指令と李承晩ラインにより、領土問題の発生。◎国際司法裁判所への付託を提案。
- ③SAPIO 編集部「日本人が知っておくべき竹島・尖閣の真相」 933 円、小学館。  
◎写真で見る蹂躪された日本の領土。◎報道ステーションの問題点。◎江戸幕府の致命的ミス。◎韓国の英雄の真っ赤なウソ。◎実効支配を強固にする海洋科学基地の建設。◎韓国の地図と公文書で、明々白々。

#### <韓国政府の見解と支持する書籍>

- ①韓国外交通商部「韓国の美しい島 独島」無料。ネットで公開。◎地理的歴史的根拠。韓国の官撰文献の干山島が独島である。鬱陵島の一部。◎安龍福が活動した竹島一件で、松島=独島として領有権の確認。◎韓国勅令による独島領有。◎島根県への領土編入は韓国の領土主権への侵害。◎連合軍総司令部は、独島を日本の統治・行政範囲から除外した。◎現在、独島に領土主権を行使。
- ②韓国東北亜細亜歴史財団「日本人が知らない独島 10 の真実」無料。ネットで公開。日本外務省の主張(2008)に反論する内容である。1.日本は、独島を韓国領土と認識していた。長久保赤水「改正日本輿地路程全図」正規版(1779)、太政官指令(1877)。2.韓国は古くから独島を認識していた。鬱陵島から目視できる。韓国の官撰文献の干山島が独島である。3.幕府・鳥取藩は、鬱陵島と独島を朝鮮領と認識し、渡海禁止とした(1696.1.28)。4.鬱陵島への渡海禁止は、途上の独島をも渡海禁止である。5.安龍福は、鬱陵島と独島(松島)を朝鮮領と主張した事実。6.島根県への編入は、日露戦争中に侵奪した。大韓帝国勅令での領有主権を侵害。7.戦後、日本が放棄する島に独島は含まれないとした「ラスク書簡」は、米国だけの意見である。連合軍最高司令官覚書(1946.1.29)の如く、連合軍全体では、韓国領とみなしていた。8.在日米軍が独島を爆撃訓練し、韓国漁民が被災した。米軍は、独島を訓練地が除外。米大使館は韓国政府に独島を使用しないと通告(1952.11)。9.韓国は独島に正当に領土主権を行使。10.韓国が、独島の領土主権を国際司法裁判所で証明する理由などない。
- ③内藤正中「竹島=独島問題入門日本外務省『竹島』批判」新幹社 800 円  
外務省「竹島問題を理解するための 10 のポイント」(2008.2)に対する批判の書である。次の四点から、日本の領有権を否定する。第一は、江戸幕府が、松島(今の竹島)の存在を鳥取藩から知らされたのは、1696 年 1 月であり、「17 世紀半ばに領有権を確認した」とは言えない。第二は、竹島(今の鬱陵島)・松島(今の竹島)を朝鮮領土として渡海を禁止した史実(1696.1)。第三に、明治政府は、「太政官指令」で、竹島(今の鬱陵島)・松島(今の竹島)を日本ではなく、朝鮮領土と決定した(1877)。第四に、韓国領の独島を、島根県への所管の竹島として強奪した(1905.2.22)ことを「領有権の再確認」とは欺瞞である。それまで、日本は領有権を主張などしていない。

#### <寸評>

日本政府が、自国の領有権に有利と見られる史料・史実だけをとりあげ、都合よく解釈したのが、外務省「竹島問題を理解するための 10 のポイント」(2008.2)である。それに対して、韓国側が反論した。相手側が有利に設営した場(掌)である。肝心の日露戦争との関りが欠落している。竹島一件も、元禄だけで、大事件だった天保竹島一件がない。明治政府の朝鮮領土と決定した史料「太政官指令」をなぜ隠すのか。対ソ連・北朝鮮との朝鮮戦争で、米国が戦略要地の独島=竹島の領有を不明確にしたことは不問にされている。また、外務省見解の改訂版(2014.3)では、反論を受けての部分修正がなされている。これへの指摘・批判は、まだなされていない。